

# 決算特別委員会の主な質疑

市議会では、本会議での審議のほか決算特別委員会を設置して、昨年度の収入・支出や実施された事業の効果などを明らかにし、来年度に生かせるように審査をしています。

## 気軽ににお出かけできるサポートを

### お出かけサポートタクシー事業

**問** 運行実績では、お出かけサポートタクシーのうち91%が高齢者の利用である。この事業の成果は。

**答** 高齢者約2万8000人のうち、およそ4人に1人の約7000人がお出かけサポートタクシーに登録している。主な利用先は病院、市役所、大型スーパー等で、駅への利用が一番多くなっている。多方面に利用していただけではないことから、成果があったと考えている。

**問** 利用者からの要望は。



**答** 台数を増やし、電話がつながりやすくしてほしい。また、市外の病院や診療受付前の朝早く

に、病院へ行くようにとの要望が寄せられている。

## 文化・スポーツ事業で広がる地域友好を

### ラジオ体操普及事業ほか

**問** 市民スポーツフェスティバル事業は、地域別に開催されるが効果は。

**答** 各地域とも10月に開催され、多くの市民が参加している。スポーツ推進員に審判等をしていただき、子どもたちから大人まで楽しく参加している。

**問** ラジオ体操普及事業の効果と今後の展開は。

**答** 参加する自治組織数が平成28年度と29年度を比較すると3組織増えた。人数としては約1900人増えた。イオンと連携して行われているラジオ体操も参加者数を伸ばし全体として増加傾向である。今後も実施日や参加者の増加に向けて努力したい。



総合体育館

**問** 文化・スポーツ事業全体で、文化振興計画にスポーツ推進計画による取り組みは。

**答** 文化事業では、アートフェスタやサマーチャレンジなどの育成に向けた取り組み、スポーツ事業では基盤整備として体育館の大規模改修を実施した。今後も将来につながる事業を展開したい。

## 保育の質の向上と環境改善

### 保育運営等巡回相談

**問** 実績報告では各施設の特徴を伸ばすための助言や課題を改善するための助言を行ったとあるが、具体的な内容は。

**答** 民間保育園数が公立の3倍近いことから、保育の質を維持する目的で巡回相談を実施した。保育活動専門員に職員が同行し、1日の保育活動を見学した。巡回相談終了後に施設長と直接質疑応答することで、保育の実態に即したアドバイスを行った。

**問** 保育活動専門員の専門性について、資格要件など具体的な内容は。

**答** 全国保育協議会が認定をし、第三者評価も行える資格と認識している。相談に対するアドバ

イスは保育の内容とし、経営的な面は、別の相談者が対応した。

**問** 各施設の特徴で、プラスになるものを相互利用することで活動に生かすなど、展開の考えは。

**答** 保育園同士の連携については課題と捉えており、民間保育園の代表者会議等で横の連絡などを行い、専門的な情報を共有して保育の質を高めた



新設された民間保育園

## 災害に対する備えを充実し地域防災力の向上

### 災害対策事業・防災施設管理運営事業

**問** 平成29年度の自主防災組織の活動実績は。

**答** 本市では、57の自治組織ごとに自主防災組織がある。各地域で消火訓練、防災講話などの活動がされており職員も参加し自助、共助の大切さを伝えている。

**問** 消防訓練や講話は、高齢者の割合が多いのか。

**答** 高齢者だけでなく、若い方や主婦の方など幅広い年齢層に参加いただいている。

**問** 防災設備の充実でLPガス発電機やラップ式トイレを導入したが、防災訓練で活用していく予定は。

**答** 平成30年度の防災訓練において、20カ所の指定避難所が開設される。全ての避難所において自主訓練という形でラップ式トイレの組み立



地域での自主防災訓練

てなどの設置訓練を実際に行っていたかどうかと考えている。

**問** ラップ式トイレは、平成30年度に5台導入されるが、今後の導入計画は。

**答** 保有数量は、平成30年度分の5台を含めて32基である。計画的に導入を実施し、目標は42基の導入を考えている。

## ゴミ減量、リサイクルを推進した大きな効果

### ふじみ野市・三芳町環境センター管理運営事業

**問** 環境センターの売電収入の事業効果は。

**答** 開所以来、電力会社に発電した電力を売電する契約を結んでいる。平成29年度の売電実績は、約9486万円である。

**問** 家具等リサイクル推進事業の販売実績は。

**答** 平成29年度全体で496件、約148万円の収入となった。販売内訳は、自転車約67万円、家具収入約78万円、食器などで約2万円である。

**問** 本市の資源物売却状況は。

**答** 新聞、雑誌、段ボール、牛乳パック、アルミ缶、ペットボトル、廃自転車、金属類、小型家電などの品々を資源物として売却し、収入を得ている。



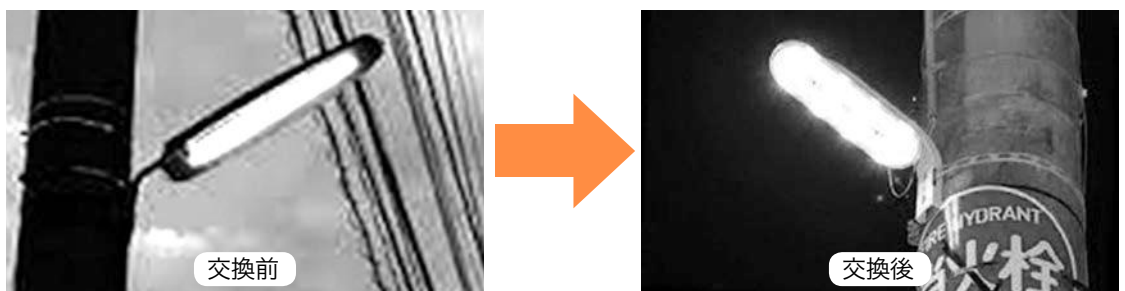
環境センター

## 明るく安全・安心に暮らせるまちへ

### 道路照明灯等LED化推進事業

**問** 道路照明灯等LED化推進について、事前調査や実施した効果は。

**答** 市内の防犯灯及び道路照明灯をLED化するに当たり、事前の調査を業務委託した。その後実際にLED化のリース及び工事を行ったことにより、現在の試算で2300万円程度の経費の削減が見込まれる。



交換前

交換後

### 決算特別委員会

◎小林 憲人	○川畑 京子
島田 和泉	加藤 恵一
西 和彦	足立志津子
床井 紀範	◎委員長 ○副委員長